

令和7年度 第4回豊橋市総合教育会議議事録要録

令和8年2月13日 開 催

豊橋市教育委員会

第4回 総合教育会議	
日時	令和8年2月13日(金) 午後3時00分～4時30分
場所	市役所東館4階 政策会議室
構成員	長坂 尚登 市長 中島 美奈子 教育委員 内浦 有美 教育委員 原田 憲一 教育長 渡辺 嘉郎 教育委員 西島 豊 教育委員
事務局	石川 和志 教育部長 伊丹 浩之 学校教育課長 ほか 3名 鈴木 大介 教育政策課長 加藤 友治 教育会館長
その他	傍聴人 1名

議事日程

協議事項

- 1 教育大綱(案)について
- 2 学校規模の適正化について

連絡事項

次回開催日程 令和8年7月1日(水) 15:00～

(教育部長)

定刻となりましたので、令和7年度、第4回豊橋市総合教育会議を開催いたします。お手元の次第に沿って進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日の協議事項は、「教育大綱（案）について」と「学校規模の適正化について」です。はじめに、資料1の「教育大綱（案）」ですが、こちらは第1回・第2回の総合教育会議での協議を踏まえ、最終案をお示ししています。今回は最後の協議の場となりますので、ご意見等ありましたらお願いいたします。

## 協議事項

### 1 教育大綱（案）について

(渡辺委員)

参考資料1の「市長の思い」はどのような扱いとなりますか。

(市長)

教育大綱としては、資料1に記載の内容がこれに該当します。参考資料1は、私が大綱の文言に込めた想いを述べたものになります。参考資料2は縦書きのものを参考としてつけたものです。必要に応じて書体やフォントの大きさを変更していただければと思います。

(渡辺委員)

教育大綱を子どもたちに示したりすることは考えていますか。

(教育長)

現行の教育大綱は、子ども向けの表現で作成したものがあり、学校で配布や掲示をしていました。

(教育会館長)

今回の教育大綱も子どもたちの目に触れるようにすることは可能です。

(教育政策課主査)

教育大綱についてはホームページで掲載をいたします。同じページに、参考資料1に記載の「市長の思い」も掲載する予定ですので、併せてご覧いただくことで大綱に込められた意味をご理解いただけたらと考えております。

(教育部長)

ほかはよろしいでしょうか。それでは「教育大綱（案）」についてはこれを最終案として公表に向けて進めてまいります。

それでは、次の次第に移りたいと思います。資料2を事務局から説明してください。

## 協議事項

### 2 学校規模の適正化について

■教育政策課 主査 協議事項について資料説明

(渡辺委員)

事務局に一つ教えていただきたいのですが、嵩山小学校や賀茂小学校で不登校の児童はどのくらいいるのでしょうか。

(教育会館長)

資料を持ち合わせていないため、両校の正確な不登校児童数を申し上げることはできませんが、不登校児童は多くないと認識しております。

(渡辺委員)

説明の中で、地域の大人の関係性が子どもにも影響を与えることがあるとありましたが、そうしたことが起こっているのであれば、子どもの教育環境としてはデメリットであると思います。また、嵩山や賀茂などの豊橋周辺部の地域では、新しく家を建てたりすることが難しく、人が居住しにくいという事情も影響していると思います。

(市長)

嵩山や賀茂にピンポイントで居住したいという人については、市街化調整区域であるため家を建てて住むことが難しいという側面はあると思います。適正化については、他市町村の事例などを見ても、先手先手で対応していく時期は既に過ぎていて、待ったなしで対応していかなければならない時期にあると思います。

(渡辺委員)

私が教育委員に就任した10年以上前から適正化について話題にしていますが、これまでほとんど進展がありませんでした。アクションを起こして、具体的に進めていかなければならないと思います。

(教育長)

子どもたちにとって真に望ましい教育環境ということを考えて時に、複式学級という環境はデメリットもあると思います。

(中島委員)

新城市や田原市で学校再編が行われてきた中でも、豊橋市はどこかで「まだ大丈夫」という認識であったと思いますが、いよいよ他人事ではなくなってきたと思います。先ほど、嵩山、賀茂の両校区で説明会を開催したとのことでしたが、保育園児の保護者は強い関心を持っていると思います。児童数予測も示されたということですが、今後は転出する世帯も出てくるかもしれません。

適正化の問題は、幼保の方が先に直面することになりますので、保育課とも連携をして進めていただければと思います。仮に統廃合を実施するとしても、一緒に過ごす時間を設けるなど、徐々に慣らしていく方法もあると思います。

(市長)

児童生徒数減少の影響は、幼稚園・保育園が最初に受けることになることは間違いありません。豊橋市の幼稚園・保育園・認定こども園はほとんどが民間ですので、経営的な部分での課題も生じてくることが予想されます。

説明にあった山県方式では学校間の移動にバスを利用しているとのことでしたが、これも中々大変だろうと思います。

(西島委員)

教育委員会の調査や対応は丁寧に行われていると思います。現場の最前線では、子どもたちの教育環境を最優先に、地元へ寄り添いながら「説得ではなく納得」のもとに取り組みを進めています。この姿勢は良いと思います。一方で、話し合いを継続するばかりでは、決まらない状況が続くことが想定されます。

説明では、嵩山校区や賀茂校区に対しては、適正化を具体的に進める必要があるとありました。令和13年度に複式学級の可能性があるという状況の中で、例えば、統廃合を行うとした場合、どの時点までに何を決断する必要があるのか、決断のリミットはいつまでなのかということを確認にする必要があると思います。

リミットが明らかになれば、行政側が適正化案を提示して進めるのか、地元の意見を尊重して行政が後押しする形で進めるのかといった方向性の議論が可能になると思います。これまで進んでこなかった適正化を進めるためにも、覚悟を持って決断することが必要だと考えます。市民の方に責任を負わせることはしないけれども、責任ある決断ができるように、行政が決断しなければならないと思います。

(市長)

リミットを考えることは必要です。例えば、説明にあったような校舎を新設する統廃合は複数年を要すると思いますし、複式学級を避けるためということであれば、今から動き出しても遅いかもかもしれません。時間的な猶予はあまりないと思います。

その他にも、複式学級が見込まれるのであれば、転校を考える世帯も出てくるかもしれませんし、そうすると、児童生徒数の減少に拍車がかかることも考えられます。西島委員がおっしゃるように、丁寧にやることと時間をかけることは、必ずしもイコールではないと思います。

(内浦委員)

大きく2点あります。1点目は、保護者の立場から適正化を見た時、複式が予想される学校区の児童生徒保護者に対しては、校区外通学が可能となるような仕組みを作って、個人の選択肢を増やしてほしいと思います。子どもたちの成長に適した環境はそれぞれ違っていると思います。大きな集団の中で輝く子もいれば、少人数の中で力を発揮する子もいます。そうした子どもの特性は、親が良く見ておくことが大事であることは勿論ですが、子どもの特性に合わせた選択ができるような体制づくりも必要だと思います。その場合の登下校の問題への対応も考える必要があると思います。

2点目は、今後、1学年1クラスの学校が増えてくると思います。クラス替えがないまま6年間過ごす教育環境は果たして子どもたちにとって良いのかと思います。嵩山や賀茂で生じているデメリットが同じように出てくると思いますし、困り感を持つ保護者や子どもはいると思いますので、そうした学校も気にかけていただければと思います。

(市長)

選択制については、個人や保護者の意思を尊重することで、その子どもと保護者の教育環境の確保に資することにはなりますが、本来校区に通う子どもたちの教育環境をどうするべきかという問題は依然として残ると思います。

(教育長)

豊橋の良いところは、小学校区単位で二十歳の集いが開催されているなど、自治会組織がしっかりしていて、学校との結びつきが強いところだと思います。我々としても地域の

方々の考えを大事にしていかなければならないと思います。もっとも、子どもたちは待つてはくれないので、個人的な考えとしては、石巻地区の5つの小学校が、昼間は1つに集まって学校生活を送り、放課後活動は地元で集まって過ごすといった新しいスタイルを構築できれば良いと思っています。例えば、義務教育学校を石巻中学校に造り、そこで小学校生活を送り、のびるん de スクールは元々の小学校で活動を行うといったことを考えています。

(市長)

今後、協議をするにあたって、地域の声を聴くこと、選択する手段によってどのくらい時間的猶予あるのか、自治体全域で学校選択制を実施している市町村の有無とメリット・デメリット、小規模校の不登校の状況、それから幼保との連携について事務局で調査してください。

(教育部長)

時間も迫ってまいりましたが、その他にご意見等はございますか。

(内浦委員)

文部科学省主催の、全国の教育長と教育委員を対象としたテーマ別の研修会に参加させていただきました。その時に、総合教育会議で自由闊達な意見交換が行われていて、しかも年に4回も開催している自治体は滅多にないとのことでした、スゴイですねという感想を他市町村の方からいただきました。

(市長)

公開の場で、教育長や教育委員の方々と自由闊達な意見交換を継続して行うことができる総合教育会議は貴重な機会だと思います。本日は、今年度の最後の総合教育会議でしたが、1年間ありがとうございました。令和8年度の1回目は7月1日の予定となっております。少し早いですが次年度もよろしくお願いします。

(教育部長)

それでは以上をもちまして、令和7年度第4回豊橋市総合教育会議を終了します。  
ありがとうございました。